

編集発行
 和歌山県北山村議会
 TEL 0735-49-2331
 FAX 0735-49-2207



北山村 議会だより



初のオンラインツアー「筏師の宝物を探して」(3月20日)
 ※オンラインツアーとは自宅に居ながらインターネットで観光地を巡る旅行スタイルです。

令和3年3月定例会が開催されました

令和3年度当初予算案・条例改正案等を審議／可決 P 2

全員協議会・定例会での協議 P 3

議員が村政を問う！ 一般質問 P 4～P 7

議会日誌 議員のひとりごと P 8

令和3年3月定例会

～令和3年度予算等を審議・可決～

本定例会は、3月10日、12日（会期3日間）で開催されました。10日の開会日は、3月11日で東日本大震災から10年となるため、会議に先立ち全員で黙とうをして被災者のご冥福をお祈りしました。会議では、諸般の報告として、村長の行政報告並びに提案理由の説明と、教育長から教育方針の説明が行われました。その後、議案の審議を行い、専決処分の承認、条例改正、おくところ温泉の指定管理などの議案、令和2年度補正予算、令和3年度当初予算に関する議案など合計25件の議案が上程され、すべての議案が原案どおり可決、承認されました。

2日目の12日は一般質問が行われ、前岡武津雄議員、藪本英明議員、久保保学議員、山口廣一郎議員の順に村行財政についての質問を行い、活発な議論が行われました。

●議決された条例・予算等の議案は以下のとおりです。

- 承認第 1 号 専決処分の承認について（令和2年度北山村一般会計補正予算（第5号））
- 議案第 1 号 北山村中小企業・小規模企業振興基本条例を制定する条例について
- 議案第 2 号 北山村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例を制定する条例について
- 議案第 3 号 北山村へき地保育所設置条例の全部を改正する条例について
- 議案第 4 号 北山村税条例の一部を改正する条例について
- 議案第 5 号 北山村職員の特殊勤務手当条例の一部を改正する条例について
- 議案第 6 号 北山村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第 7 号 北山村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第 8 号 北山村国民健康保険条例の一部を改正する条例について
- 議案第 9 号 北山村介護保険条例の一部を改正する条例について
- 議案第10号 北山村国民年金印紙購入基金の設置及び管理に関する条例等を廃止する条例について
- 議案第11号 財産の出資について
- 議案第12号 北山村森林体験交流センター（おくところ温泉）等の指定管理者の指定について
- 議案第13号 令和2年度北山村一般会計補正予算（第6号）について
- 議案第14号 令和2年度北山村国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について
- 議案第15号 令和2年度北山村介護保険特別会計補正予算（第3号）について
- 議案第16号 令和2年度北山村国民健康保険直営診療所特別会計補正予算（第3号）について
- 議案第17号 令和2年度北山村地域振興事業特別会計補正予算（第4号）について
- 議案第18号 令和3年度北山村一般会計当初予算について
- 議案第19号 令和3年度北山村国民健康保険特別会計当初予算について
- 議案第20号 令和3年度北山村介護保険特別会計当初予算について
- 議案第21号 令和3年度北山村後期高齢者医療特別会計当初予算について
- 議案第22号 令和3年度北山村国民健康保険直営診療所特別会計当初予算について
- 議案第23号 令和3年度北山村簡易水道特別会計当初予算について
- 議案第24号 令和3年度北山村地域振興事業特別会計当初予算について

●北山村森林体験交流センター（おくところ温泉）等の指定管理について

今回の定例会で可決された指定管理の議案の可決により、おくところ温泉は初めて村外の事業者によって運営されることになりました。コンビニの営業時間の延長、レストランでのカフェの営業などより便利になりますので、ご利用下さい。

予算・条例改正について議員が問う！

全員協議会・定例会での主な質疑内容

【質問】おくところ温泉を山永サービスが運営するが、毎年、指定管理料を支払うのか？

村の特産物を扱うなど、村の特色を出してもらいたい。

【回答】令和3年度は1200万円、令和4年度は1100万円、令和5年度は1000万円を上限にして、お互いに協議しながら指定管理料を決定します。運営については、協議会を立ち上げて村の意向が反映されるように努めます。

【質問】区民会館管理委託料が新たに計上されているが、どのようなものか？

【回答】各地区の区民会館が新築され、電気料などの管理費の負担が増加しています。各地区の会計が赤字になっているので、村で光熱水費の2分の1程度を負担することになりました。

【質問】コロナワクチン事故調査委員報償費が計上されているがどのようなものか？

【回答】ワクチン接種で事故が起こった場合、そのワクチン接

種が妥当だったか判断するため
の委員会、医師、保健所長、
弁護士等で組織するものです。

【質問】教育費で海外留学の補助金があるが、対象の学年は？

【回答】令和3年度は中学2年生が春休みに留学することを計画しています。また、令和2年度の中学3年生がコロナ禍で行けなかったため、村の英語教育の観点から卒業生も対象にしています。

【質問】体育館の照明リースについてはリースの方が安いのか？

【回答】平成28年度に買取かりースカを比較したところリースの方が安かったため、5年間のリース契約で導入しました。

【質問】北山振興に対して1500万円の出資金を拠出するがどのような事業なのか？

【回答】来年3月に入荷するじゃばら苗木の植栽場所を確保し、新加工場の建設に伴うじゃばら生産量の拡大を図るための事業です。財源は過疎債であり、村

負担は少なくなりません。

【質問】温泉に対する要望、苦情がどこまで村が関与できるか。1200万円指定管理料を出すので、意見が言えるように

【回答】今回から初めて村外の事業者への指定管理になります。村の関与が制限される場合もありますが、協定書を作成し、監査委員の介入、運営方針について協議できる場を設けることも明記します。

入浴時間は変更なしで、レストランでティータイムを設けること、コンビニの営業時間が長くなる（朝7時〜夜8時まで）など村民サービスは向上します。

【質問】地籍調査は現在どこを調査しているのか。

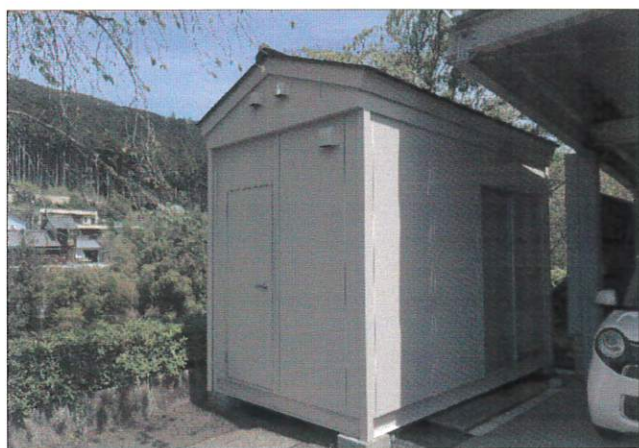
【回答】小瀬、四の川から浄水場まで実施。予算減額は入札残。全村完了までは、数十年かかるので、集落内が終わったら事業の休止を予定しています。

【質問】観光協会への550万円の補助金は何に使うのか？

【回答】道の駅の管理費、協会の運営費、地域おこし協力隊の人件費として拠出します。協力隊は募集中で、財源は特別交付税として交付されます。

【質問】筏作製委託料はどのようなものか。
【回答】筏は3年しかもちません、また、完成してもすぐには使えないので、毎年4乗りの筏を作製しています。
予算は4乗りの筏の作製委託料を計上しています。

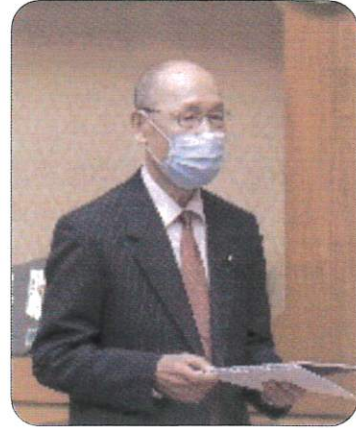
【質問】コロナ対策費として設置予定の発熱外来診療施設は、予定通りに完成するのか。
【回答】年度内に完成する予定です。（写真は診療所の横に設置された発熱外来診療施設です。発熱などの症状がある患者を診療するために設置しました。財源はコロナ感染症対策交付金。）



一般質問

- ① 児童生徒の交流学習について
- ② 姉妹都市について
- ③ 関係人口について

前岡 武津雄



【質問】太地町が森浦湾の一部を網で仕切って小型の鯨類を放し飼いにする事業を昨年7月にオープンした。北山小中学校の児童生徒が遠足や夏休みなどで体験してはどうか。また、太地町の児童生徒にも北山村に来てもらい筏下り、ラフティングなど体験してもらい、活動を通じて児童生徒の交流に繋げてはどうか。

【答弁】北山村の子供たちにとって海の体験の意義は大きいと考えていますので、北山村ならではの体験学習について検討します。新型コロナが終息し、子供たちが伸び伸びと活動できる日が来ることを願っています。

(中島教育長)

【質問】全国でも筏流しの文化がある地域がある。また、小さな村g7の関わり、北山三村交流、そういった関係する地域と、友好都市、姉妹都市などの制度を活用し、交流を行い、住民同士の交流、児童生徒の交流活動等を進めていくことは可能だと思ふ。

【答弁】太地町との交流は山海の交流としてぜひ実現したいと思っています。交流はとにかく北山村の子供たちにとってより良い内容になるよう教育長に願います。また、地域事業課と観光協会が協力して修学旅行の誘致なども進めていきます。

(山口村長)

【質問】地域の活力維持や将来の移住に繋がる「関係人口」の創出が必要である。

【答弁】県の政策では、大学生をターゲットとした関係人口の創出・拡大がうたわれており、移住に関心のある学生に仕事、暮らしをセットで体験できる「お試し住宅」の機会を提供する、とある。

田舎暮らしに興味がある学生に夏休みなどの長期の休みを利用して、村に住んでもらい、温泉施設のパートなどの不足した人材を補ったり、関係人口として、村の活性化に繋がる事業が可能だと思ふ。学生の住む場所などの問題もあるが、村の活性化にもなるし、村への移住の一つの窓口になる。また、大学生にとっても、メリットがあると思ふので、是非、検討をお願いしたい。

【答弁】現在のところ関係人口の目標は立てていないが、小さな村g7サミット、北山三村交流などで、村の職員、住民の交流はできています。今後の関係人口の増加には村のファンづくりが必要だと考えています。

ふるさと納税寄付者への案内、じゃばらオーナー制度の活用、じゃばら大使の山口富士夫さんに協力を頂き村のファンクラブを作るなど地域外の人の入り口を増やす工夫を行います。

なお、学生が村に来て結婚して定住したり、インターンで村に来たことで定住に繋がったりと成功事例もありますので報告します。(尾中地域事業課長)

太地町の森浦湾鯨の海構想」を視察しました。

12月16日、議員視察として太地町を訪れ、「森浦湾鯨の海構想」の取り組みを視察しました。

この取り組みは、くじらの町、太地町が、森浦湾の一部をネットで仕切り、湾内で小型の鯨類を放し飼いにし、「鯨と人の触れ合いと癒しの場の創出」「世界に先駆けた大型鯨類の飼育」「日本屈指の鯨研究」により「観光集客力の強化と地域活性化」を図る事業で、昨年7月にオープンしました。

バンドウイルカ、ハナゴンドウイルカなどがこの湾に放し飼いにされており、湾内でのカヌー体験、海上に作った遊歩道から間近でイルカと触れ合えます。



一般質問

長期総合計画のスケジュールについて 学童保育の導入について

藪本 英明



【答弁】長期計画の策定については、令和2年度に住民アンケート、村長ヒアリング、庁内ワークショップにより各課の考えを取りまとめ、素案を作成しました。

今後組織する住民参加の委員会は、単に住民の意見の集約の場だけでなく、村のために継続して意見が出せる場とします。

予算としては令和2年度からの繰越事業として行い、計画策定を行います。(尾中地域事業課長)

【質問】長期総合計画策定に向けて令和元年にはアンケートを実施し、令和2年度に委託費460万円を計上しているが、事業が進んでいるように見えない。村長の施政方針でも述べているが令和3年度では予算が計上されていない。スケジュールを明確にして、スピード感を出して取り組んでいただきたい。

【答弁】長期総合計画策定は、コロナ禍によりスケジュールに遅れがでています。現状認識と村への思い、今後の取り組み内容を記載するものです。事業としては奥瀬道路完成後の3号橋の観光活用、また村道になる下尾井く小松間をサイクリング道路に活用。道の駅を観光面、防災面の拠点として再整備を計画します。(山口村長)

【質問】令和4年度には9名の児童が小学校に入学予定。

北山方式で学童保育の導入を要望する。村で子育てをしたくても子育て環境が出来ていないためにやむなく村外に出ていった人もいると聞いている。早期に実現するために住民福祉課と連携して検討していただきたい。

【答弁】学童保育は厚生労働省の管轄で型にはまったものは村では難しいのが現状です。行政だけでなく協議会等を組織して進め方を決めたいと考えています。令和3年度の夏休みに試行し、人材の確保を行います。住民福祉課で取り組み、教育委員会が協力すること

で必ず実現させます。(山口村長)
【答弁】子供を預ける場所がなければ、子育て世帯が村外に流出します。子供を預ける場を作り子育てを支援することを教育委員会と進めていきます。
(川邊住民福祉課長)

見福寺のSDGsの取り組み 「絵本を届ける運動」

SDGsという取り組みをご存知でしょうか。SDGs(エスディーゼーズ)とは2015年9月に国連が提唱した「持続可能な開発目標」というもので、貧困、教育、環境保全など17項目の分野で世界全体で社会課題を解決することを主眼としています。

村内で行われているSDGsの取り組みをご紹介します。曹洞宗見福寺では、教育の分野として「質の高い教育をみんなに」を実現するために、絵本を届ける運動を行っています。

この日はミャンマーの子供に送る絵本にビルマ語のシールを貼る作業をしていました。ビルマ語が読めないので、日本語の上にビルマ語が書かれたシールを張るのが大変そうでした。見福寺では年に数回行っており、村民の方もこの運動に参加しているそうです。

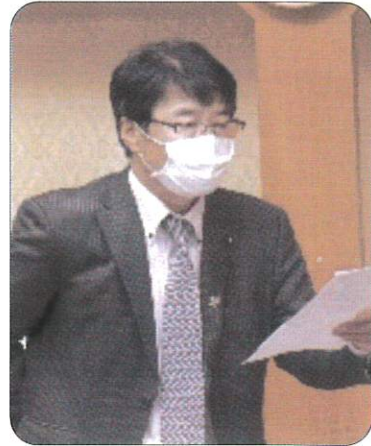
(村としても持続可能な社会のために何か取り組みができないでしょうか。)



一般質問

村の財政悪化の状況について
ふるさと納税の基金の使い道は

久保 学



【質問】財政調整基金の取り崩し、多額の村債発行など財政的にはかなり厳しく、既にふるさと寄付金の基金を取り崩さないと事業が執行できなくなっている。ふるさと納税は好調であり、積立額も増えているが、ふるさと村づくり基金の取り崩し状況はどうなっているか。

和3年度も基金全体で2億3千万円の取り崩しが必要であり、財政規模に応じた財政運営を図っていかねば基金が無くなり、これまで行ってきた事業ができないといった状況も十分に予想されます。

(中森総務課長)

【質問】長期総合計画を策定し、10か年の事業を計画していくが、今後ふるさと納税の基金をどのような事業に活用していくのか。

【答弁】ふるさと村づくり基金の使途については、財政の見直しも含め、現在村が行っている既存事業に充たせながら、今後整備が必要な事業に計画的に充たしていく予定です。医療福祉に関する事業としては地域福祉として社協への補助、生活支援ハウスの運営委託。教育・子育て支援としては保育所の運営、英語教育、居場所づくり、海外研修等。地域振興に関しては観光協会、商工会への補助、若者定住促進事業。既存事業への充ただけで毎年1億2千万円程度の取り崩しが必要になります。

(中森総務課長)

【提言】ふるさと村づくり基金の財源がなければ、予算が組めなくなっている。福祉バスなど無料としている行政サービスの有料化も検討する時期に来ているのではないかと。村の施策として無料はみんな喜ぶが、村の財政が厳しい時は痛みを伴う改革が必要で、補助金のカットなども必要と思う。今後、行財政の刷新会議などを行い、予算の有効利用を行っていただきたい。

【答弁】従来から予算編成にあたって担当課と財政との予算に対する認識が希薄でありました。決してやりたい放題ではないし、無駄な施策があった訳ではないが、施策の見直しが必要な事業も見受けられます。交付税が年々減少する中で経費が増えており、収入と支出のバランスが保てない状況になっています。

福祉、ゴミ処理、診療所など村民の生活に直結した施策はどうしても必要であります。余分なものには省き、財政シミュレーションを行い、考え方を切り替えて財政健全化に取り組んでいきます。公共事業の発注が適正に行われているか、村内の事業量の問題もあるが、財政のチェックを入れて遂行していきたいと考えています。

(山口村長)

村の人口 (令和3年3月末現在)	426人
65歳以上人口 (高齢化率)	189人 (44.4%)
中学校生徒数 (令和3年度)	5人
小学校児童数 (令和3年度)	21人
保育園児数 (令和3年度)	15人
3歳未満 (令和3年3月末現在)	6人

事業項目	令和元年度末 基金残高(千円)	基金を充当した事業
村長が必要と認める事業	178,066	じゃばら加工場設計委託
地域振興に関する事業	314,537	じゃばら北山への出資金 若者定住促進事業
医療・福祉に関する事業	101,074	社協、福祉センター運営 診療所の運営
教育・子育て支援に関する事業	89,854	中学校のトイレ改修事業・ 保育所運営・英語書道教室 子供の居場所づくり事業

一般質問
地震に対するダム湖の安全性、非常時の防災道路の整備について
山口 廣一郎



【質問】高い確率で発生すると指摘されている南海トラフ大地震。行政として非常時の対策は確立していると思うが、改めて喫緊の課題として村民の命を守る体制を聞きたい。

【答弁】南海トラフなどの地震発生時には高齢者や障がい者など避難行動要支援者の名簿を作成して一人一人誰が支援に行くかを決めています。避難所である各区民会館に災害対策本部との連絡手段である消防無線、衛生携帯電話を設置し、備蓄倉庫に発電機、投光器のほか、救出に必要な機材を整備しています。3日間程度の非常食、飲料水も備蓄されており、自助、公助を含めて1週間程度は対応できる体制を整えています。しかし、県が想定した建物被害の予測で

は、全壊家屋が140棟。半壊家屋が170棟、死者が5人、重傷者が6人、軽症者が30人と予想されており、道路の崩壊などで村の孤立も想定されるなかで、救助体制や医療体制、観光客も含めた避難所の整備体制等、まだまだ課題が多い状況です。

(中森総務課長)

【質問】池原ダム、七色ダム、小森ダムは竣工から55年が経過するが、ダムの経年劣化が及ぼす耐震性の懸念は？電源開発と村行政、村民の非常時のホットラインの確立はされているか？

【答弁】現在、電源開発と水利権更新の交渉中であり、ダムの安全性、耐震性や緊急時の体制について協議中です。ダムの決壊など超非常時にはホットラインよりもサイレンが有効と考えられています。

(中森総務課長)

【答弁】電源開発からの回答では国土交通省河川局が発表した「大規模地震に対するダム耐震性能照査指針」によりダム本体の耐震性、安全性は確保されて

おり、大規模地震が発生した場合でもダムが決壊し下流に甚大な被害が生ずる恐れはないとのことです。

(尾中地域事業課長)

【質問】万が一ダムが決壊した時、車での高齢者の避難という点で、大沼地区は高台までの道路がないので、防災道路の整備を早急に考えていく必要があるが？

【答弁】大沼地区での高台に上る道路について以前に検討しましたが、山中に広い駐車場、避難所が必要であり、それよりも要介護者を避難させるには自動車で村道、林道を活用するのが一番です。道路崩壊の恐れがありますが、七色・竹原は村道不動谷線、大沼は林道平田線、下尾井は林道相須大谷線などを活用して、万が一の災害の際に備えた心づもりが必要と考えています。

(山口村長)

【提言】災害に対する啓発、備えが村民にいきわたっていないと思う。災害に関して心すべき言葉があります。「起きてもしないことを想像することが防災のあり方」「そのときどうする？を今考えておく」「災害は確実に、しかも静かにやってくる」行政、私たちは常にこの意識を持ち災害に備えておく必要がある。

議会の防災の知恵袋 No. 11

前回の防災の知恵袋では、防災ごっことして「停電ごっこ」を紹介しましたが、今回は「断水ごっこ」を紹介します。災害により断水になったことを想定して、ペットボトルの水だけを使い、水を節約して調理してみましょう。災害を想定して、カセットコンロを使用してください。

ポリ袋（熱に強いポリエチレン）に入れて、お米を炊くことができます。

※無洗米1合に対して水1カップが目安です。

※なべ底ポリ袋が触れないように耐熱皿を入れましょう。

鍋も汚れず、洗い物も少なく済みます。

鍋一つで、レトルト食品や缶詰の湯煎はもちろん、耐熱のポリ袋を使えば、お米、パスタ、野菜、肉や魚も茹でることができますので、いろいろ試してみると、いざというときの備えになりますよ。



議会日誌

2月 如月 (きつろぎ)

- 12日 総務建設常任委員会 (村民会館会議室)
- 16日 和歌山県後期高齢者医療広域連合議会
- 24日 新宮周辺市町村広域議会 (和歌山市)
- 25日 紀南環境衛生施設事務組合議会 (新宮市)
- 26日 総務建設常任委員会視察 (上北山村) (新宮市)

3月 弥生 (やよい)

- 2日 議会運営委員会 (村民会館会議室)
- 5日 全員協議会 (村民会館会議室)
- 10日 3月定例会 (役場)
- 24日 株式会社じゃばらいず北山取締役会 (じゃばらいず北山会議室)
- 29日 東牟婁郡町村議会議長会臨時総会 (那智勝浦町役場)
- 30日 電源開発(株)への水利権更新に係る要望 (大阪市)

4月 卯月 (うづき)

- 9日 総務建設常任委員会 (村民会館会議室)
- 12日 和歌山県町村議会議長会
- 令和2年度決算監査 (和歌山市)

5月以降の予定

5月 皐月 (さつき)

- 3日 北山川観光筏下り開航・安全祈願 (オトノリ筏乗場)
- 12日 新宮建設部への要望活動 (新宮市)
- 14日 総務建設常任委員会 (村民会館会議室)

6月 水無月 (みなつき)

- 中旬 議会運営協議会・全員協議会 (村民会館会議室)
- 下旬 6月議会定例会 (役場)

表紙の写真の説明

まだまだ、コロナ感染の収束が見えない中、北山村で初めてオンラインツアー「筏師の宝物を探して」が開催されたので、約2時間のツアーで、11名の方がインターネット等を通じて村を訪れました。コロナ感染症により旅行スタイルも変化していますので、今後、オンラインで村を訪れる方が増えるのではないのでしょうか。ネット等での情報発信の必要性を感じます。



議員のひと言

当たり前と思える日常の生活が2019年10月の台風19号で大きな被害を受けた上、昨年はコロナ感染が拡大世の中の仕組みがひっくり返った。子供から高齢者までコロナ禍における経済的な負担が増すばかりで、コロナの行き先が見通せない中、日々の支出増は心理的にも影響が大きい。

このような状況の中、効果が期待されるワクチンが入荷され国民に投与されると言う。2回の接種で効果が十分期待がもてると言う。

投与される日(北山村では5月10日から)までコロナ感染に十分注意し、健全、健康で、十分な体力で臨みたいと思います。多くの村民がワクチン接種を無事に済まし、村全体を免疫抗体に包み込みたいと思っています。

まとめとして、日常の生活を感謝の心で暮らせることが豊かな生活であると痛感している日々です。

北山村議会議長 久保 隆俊